



Ferris University

2006 No.4

フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちょうど、ともし灯がその輝きであなたを照らすときのように、全身は輝いている。

ルカによる福音書 11章36節

いと小さき者に

理事長 小塩 節



横須賀市内に、三代にわたる有名な小児科「広瀬医院」がありました。昨年までその現役院長をおつとめだった広瀬誠医師が急逝され、残念ながら医院は惜しまれつつ閉院となりました。小児科は仕事がきついので、若い医師達はこの科に進もうとしないのです。さて、フェリスにお姫御さんをお托しにもなり、えにし浅からぬこのお医者さま。あるときミヤンマー（ビルマ）の広大な無医村の惨状を聞くと、お友だちと語らい、多くの医師・看護師がアジアやアフリカに援助に出かけていたりと剣着き鉄砲で国外退去を令する。それにひるむことなく、内科・外科のみならず何と歯科と技工士のメンバーは村での滞在を五時間と定め、時がくも加え、大荷物の中に横浜Y.M.C.Aが用意してくれた歯ブラシ数千本も持つていった。口の中に万病のもとがありますから。

場で最後の礼拝を立つたまま、丸くなつて守り、聖書の「いと小さき者になつたるは、我になしたるなりし（いと小さき者になさざりしは、我になさざりしなり）」という主のことばを広瀬さんが朗読し、僅かにそのみ旨のようになしうたことを感謝して祈つた。その後、激痛で倒れ、一月一日、過労による胃穿孔で急逝。最後は顔に当てられた酸素マスクを二度もむしり取つて「患者さんが待つてゐる」とくり返したそうです。死顔は崇高だった。

帰国直前に村人たちが広場に、何と病院を建て、首都ヤンゴンから研修医を定期的に迎えることに決まつたといふ。その村人の主（おさ）は、祖父母、両親、家族をあの第二次大戦末期に全滅した日本軍兵士に村を荒らされ、ブチ殺された人たちの一人であります。つまり、この人たちが憎むべき日本人に対して病院を黙々と自ら建てて報いたのです。「いと小さきもの」（Others）になしたこととは、逆にまたかえされてくるのであります。

デジタルとアナログ

学院長 岡野 昌雄



最近ニューヨーク在住の妻の友人から、学生時代の写真がメールと一緒に送られました。今から四十年以上も前、彼女は交換留学生として私たちが学んでいた大学に一年間在学し、その間キャンパス内の寮で妻と同室でした。そのとき私は既に卒業して京都にいましたので、彼女に直接会つたことはありませんでした。が、妻からは結婚後も折に触れて、彼女がいかにすばらしい女性であるかということを聞かされました。特に二人で北海道を旅行したときの話は、写真を見ながら延々と続いたものでした。よほど気が合つたのでしょう。それ以後も文通だけは続けていたのですが、四年前に

いの経験、その意味ではアナログの経験でしょう。同じキャンパス、同じ時期に、時には教室で机を並べ、時にはカフェテラスでお茶を飲みながらおしゃべりに興じた経験がなければ、私たちの生活は何と味気ないことでしよう。いつも簡単に数十枚の写真をあつという間に送つてくれるなど、コンピューター社会のさまざま恩恵を思いながら、アナログとデジタルの幸せな共有を願つたことです。

彼女が送つてくれた五十枚ほどの写真のうち、妻が写つているのは十枚ほどで、私も見たことがあります。が、あとは旅行中に見かけた風景や人々の写真で、もちろんすべて白黒です。しかも当時はまだデジタルカメラなどありませんでしたから、写真はすべてアナログのはずで、メールと一緒に送つてくれたのは彼女がスキャンしてくれたのでしよう。写つていける対象はどれも今では懐かしいと言うか珍しいと言うか、北海道のひなびた風景や人々の姿ですが、それをはるばる遠方からデジタルであつという間に送つてくれて、それを自分がパソコン画面で見ている現実に時の流れを強く感じました。

今ではパソコンを使って、行つたことのない世界を旅行したり、古い時代にタイムスリップしたり、さまざまな経験をすることができますが、しかし私たちにとって本当に力になるのは直接的な出会いで、その意味ではアナログの経験でしょう。同じキャンパス、同じ時期に、時には教室で机を並べ、時にはカフェテラスでお茶を飲みながらおしゃべりに興じた経験がなければ、私たちの生活は何と味気ないことでしよう。いつも簡単に

本学の近況について

学長 本間 恒



ました。

■特色GP・・「フェリスの一冊の本」—読書の種を蒔く

図書館は学生に本を貸し出すだけではなく、学生を中心として全学生が「一冊の本を読み、感想を語り合う」運動

を数年前から実施しており、その成果は学生の貸出冊数が私大平均の3倍になっています。今後は授業と連帯してさらなる発展を期します。

■ 現代G.P. 「若い女性の視点から
らの音楽コンテンツ創造」

学部改革によって音楽芸術学科が誕生し、クラシック音楽にとらわれず、「アニメ・ゲーム音楽政策」「マルチメ

「デイア著作権ビジネス」「メディア・アート」など、魅力的な音楽コンテンツ

■現代「...」「...」「...」の創造とそうしたコンテンツ・クリエーターを育成します。

■ 現代の「E・S・C 地球温暖化抑制に向けた環境教育拠点の形成」——地域に開かれたエコキヤンパスと環境情報発

信による地域連帯

次世代の生命を大切にしてほしいとの
本学の理念と学生の熱意とが合致し、
学内ご才トレープ、生ゴミのコンボス

ト化などに取り組み、さらに、風力発電、太陽光発電、太陽熱温水器、クー

ルチユーブなど省エネや雨水利用、省工ネ親子講座の実施など地域の人々とともに取り組んでいます。

維持協力会募金コンサートのご案内

フエリス女学院維持協力会は、学院をサポートする目的で設立され、10年が経ちました。

小塩先生をはじめ演奏してくださる先生方もボランティアで出演して下さいます。

小塩先生をはじめ、演奏してくださいざる先生方もボランティアで出演して下さいます。

今回の収益金は全て、維持協力会の資金とし、学院施設の建設等に利用されます。

三同窓会では、全面的に協力する事にいたしました。どうぞ多くの同窓生

各委員会へ直接お申入下さい。
チケットは三〇〇〇円です。

名同窓会記念講演会
金子和恵

〔Fグループ〕 ○四五六八一六七四○
りてら ○四五八二二八六九二
りべるて ○四五六六一〇七五〇

卷之三

卷之三

中世

卷之三



りべるて・Fグループ・りてら 合同総会

2006年4月29日・緑園キャンパスにて



第4回合同総会は、生憎の雨にもかかわらず、緑園キャンパスに多数の会員が集い開催されました。

はじめに各同窓会がそれぞれの総会を聞き、一同チャペルに移り、大学チャバレン廣石望先生の司式により礼拝はとり行われました。

次に同窓会を代表し、りてら田辺会長よりご挨拶とFグループ大谷会長、りべるて金子会長の紹介がありました。

大学より本間学長のご挨拶をいただきました。少子化による受験生の減少を心配したこと、フェリスの教育に対する受験生の期待の高さ、センター試験導入等で昨年よりも35%も受験者数を増やしたこと、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム、特色GP」に提出した3点のプログラムが全て採用されたとのお話を伺い、大学が一丸となつて取り組まれている様々な事柄を頗もしく伺いました。

続いて、音楽学部新卒業生によるソプラノ独唱とピアノの演奏を楽しみました。

そして、校歌を全員で歌いチャペルをあとにしました。

その頃には雨も上がり恒例の記念撮影、懇親会となりました。

ご来賓の小塩理事長、岡野学院院長よりお話を伺い、各グループごとに先生方となごやかな歓談のひと時を過ごしました。
来年は四月三十日(月・祝)です。
皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい
いますようお願い致します。



第17回 リべるて総会

去る4月29日(土)キダーホールにて総会が開催されました。金子会長よりご挨拶と、昨年4月に施行された「個人情報保護法」に基づき、学院や同窓会が会員の個人情報を厳しく管理している事。各方面で活躍している同窓生を講師に迎えての講習会について。バザー寄贈品のお願い。収益金については今年度から全額を学院へ寄付する旨のお話がありました。

今年は友井先生、古川先生のご出席を賜りお話をして頂きました。その中で友井先生は「くば大学の先生のお話を紹介され、「本物を見つける事は大切な事」とお教え下さいました。今回初めてご出席された古川先生からは「フェリスとのかわりの中で、「フェリスは夢のある学校。家政科はなくなりても母校があるのは幸い。母校はありがたい。」と励ましのお言葉を頂きました。

続いて議事に入り、2005年度活動報告、決算報告、会計監査報告が承認されました。引き続き2006年度活動計画(案)、予算(案)についても審議され承認されました。

今年は、委任状を含め1887名の主席者でしたが、例年より出席者が多かったのは嬉しい事でした。この総会が委任状を役員一同願つております。今も、総会が恙無く終しました事を感謝と共にご報告致します。

(報告・岩江眞理子)



30回

(報告・般若澄子)

Fグループ総会



(報告・大矢
節子・71)

岡陽先生、木村圭二先生をお迎えして、69名の同窓生が集いFグループ総会が開催されました。

まず大谷会長より、同窓会として大学を支援して行きたい旨、また学院あげての行事として10月に開催の決まった募金コンサートに、是非ご協力をお願いしたいとの挨拶があり、議事に入りました。05年度会計報告、会計監査報告、活動報告、

06年度予算(案)、活動予定が報告され、それぞれ承認されました。

次に選舉管理委員長から来年3月に会長選挙が実施されるとの予告がありました。さらに各支部から活動報告がなされました。引き続き新学部長の久保先生からは、改組後の音楽学部の活動発展活動状況や、

田辺会長の挨拶に続き、四月八日の幹事会で承認された昨年度事業報告、決算報告、シヨップ会計報告、今年度予算案などが報告、説明されました。

来賓 文学部長 国際交流学部長 渡辺浪二先生
国際交流学部長 馬橋憲男先生
りてら総会は、新任の両学部長先生をお迎えしてスタートしました。

来賓

文学部長

国際交流学部長

馬橋憲男先生

渡辺浪二先生

第22回 りてら総会



同窓会では、今年、1887名の主席者でしたが、例年より出席者が多かったのは嬉しい事でした。この総会が委任状を役員一同願つております。今も、総会が恙無く終しました事を感謝と共にご報告致します。



*ソプラノ独唱

ピアノ 大浪 智紗
本多 賴子

P・マスカリー
カヴァレリアルステイカーナより

アヴェマリア
野中 有子

*ピアノ独奏
A・スクリヤーピン
12の練習曲作品8より

1番変ロ短調



野中 有子

音楽学部新卒業生演奏

● 同窓会では、今年、1887名の主席者でしたが、例年より出席者が多かったのは嬉しい事でした。この総会が委任状を役員一同願つております。今も、総会が恙無く終しました事を感謝と共にご報告致します。

● 大学院 四四名
● 音楽学部 一〇五名
● 文学部 一九六名
● 國際交流学部 二〇九名
の卒業生をお迎えすることができます。

りべるて

Vol. 18

他の同窓会からの参加もあり、これも嬉しいことです。おひとりで参加されてもすぐに楽しい輪の中で一緒に楽しめる講習会です。

現在国内外でご活躍中のりべるての会員である先生方に教えていただける素晴らしい教室です。是非ご参加ください。

れる紙面作りを目指しました。“ご自分も一緒に活動している”と思っていただきたのです。そして、いつの日か総会に、山手の行事に参加していただきたいです。

さて、四月二十九日の総会は、三十名近くの同窓生を緑園キダーホールにお迎えして開催いたしました。いつも私達を暖かく見守りお導きくださる友井ゆり子先生、はじめてご出席くださいました古川英先生、おふたりのお元気なお姿と楽しいお話を伺うことができました。

同窓会の活動は、会員の住所管理が大きな柱です。しかし転居等住所不明となられた方をこちらから調べることは困難です。昨年施行された個人情報保護法も一因です。もし、お友達で会報等届いていない方をご存知でしたら、ご本人からご連絡ください様、是非お伝えください。

各種講習会は、お料理、お菓子、ビーズ、ステンドグラス、北欧絣織物と実施しております。昨年からは材料費のみでご案内しております。これは、ひとりでも多くの同窓生に参加していただきたいとの思いで始めましたが、参加者が増え皆様に喜ばれております。

この一年、同窓会は会員の為にどの様に活動したら良いか、話し合いを重ねて参りました。

その中で、遠方にお住まいの方々は、会報によりフェリスで過ごした青春時代に想いを馳せていらっしゃる。また、近くても行事等に参加できない方のために、活動はもとより、山手の風も一緒に届けら

「りべるての皆様へ」

会長 金子 和恵



二〇〇六年度役員

会長	金子 和恵	D 51
副会長	村本とよ子	D 35
書記	北村 周子	D 43
会計	遠藤木美子	D 45
会員	志村 嘉子	D 47
会員	石井 克子	D 43
会員	河合 恵子	D 47
会員	鈴木 初枝	D 44
会員	近藤 誠子	D 44
会員	岩江真理子	D 51
会員	堤 あをみ	D 55
会員	佐藤 昌子	D 57
会員	渡辺 晃子	D 40
会員	D 43	

フェリスの想い出



恩師登場

古川
英



のドライブを楽しみました。元町の古い店の職人さんが誇りを持って、仕事をしている話を聞いて我家の家具もいくつか作って、今もフェリスの想い出と共に私の身辺を温かく見守ってくれています。

調理を教える関係で中華街の道具や、その頃まだ東京にはなかった食材等を見たり、買って帰り料理して勉強になりました。フェリスとは当時、西洋料理の友井先生、日本料理の永島先生、中華料理の矢野先生

方がいらっしゃり経験の浅い私は、いろいろと勉強させていただきました。

学生と旅行に行つた時の事は印象深い経験でした。添乗員は大学出たての張切った青年で、食物科に参考になるプログラムを研究してとても助かりました。最初の宿がいました。友井先生の御案内でお空気のよい高台にある校内をみせていただきました。私は一九七六年から非常勤として、一九八二年から一九八九年学科廃止迄の間、短大政科教助教授として勤務させていた

だきました。

初めてフェリスにうかがった時、私の知っている大学と違い、とても明るく先生方もスマートで学生も自由にのびのびした雰囲気にびっくりしました。それ迄横浜に御縁がなかつたので、山手の雰囲気は外国の文化に一步近づいたようで、わくわくした事を思い出します。東京が文化の中心だと思っていた者にとって、日本は昔船で外国人の文化が入ってきたのだと悟り、横浜の歴史の重さに目が覚める思いがしました。帰りには元町や中華街で買物をして横浜迄

ば家族は集います。それとフェリスとで学んだキリスト教の愛の心を大切にして温かい心でまわりの人に接して下さい。

今、子育てで忙しい世代の卒業生に私の経験として伝えたい事は、家庭にあっても情報化の現代勉強出来る事は多種あります。無理せず子育てが終わつた頃自分としての生きがいのある物をみつける準備期間として大切に使い、更なる発展を心から祈っております。

今、子育てで忙しい世代の卒業生に私の経験として伝えたい事は、家庭にあっても

情報化の現代勉強出来る事は多種あります。無理せず子育てが終わつた頃自分としての生きがいのある物をみつける準備期間として大切に使い、更なる発展を心から祈

ております。

久しぶりに坂を登り、気分は学生に戻りとても楽しかつたです。また是非よろしくお願ひ致します。ありがとうございました。
岡嶋 D 60

生田 D 60

ビーフ・ストロガノフは本格的な味、又、懐かしいレモンパイもたん能させて頂きました。又、来年も楽しみです。ありがとうございました。

レモン・パイのメレンゲ作りをしましたが、久しぶりにケーク作りをとても樂みました。友井先生のお元気な姿にホッとしました。

淨見真由美 D 44

友井先生のお料理教室

6月8日、友井先生のお料理教室が開催されました。

メニューは、ビーフストロガノフとバターライス、レモン・メレンゲパイでした。

参加者の皆様から感想をいただきました。

友井先生や先輩やお友達とお近づき出来てうれしいです。とてもおいしかったです。

赤石眞弓 D 60

久し振りに母校を訪れ、楽しいひとときを過ごせました。友井先生にお会いで伺ってお料理も教えていただき、とても懐かしく思いました。

平林紀子 D 60

友井先生のお元気なお姿見出来まして

楽しく思いました。

前田聖子
D 44



楽しい一時、ありがとうございました。
どうございました。

木下その美 D 57

世界の人形ふれあいクルーズ、横浜人形の家

問合せ先・横浜人形の家

横浜市中区山下町18

TEL ○四五（六七一）九九六一

休館日 7、8、12月を除く毎月第3月曜日

入館料 大人500円 小人150円

小さい頃、お気に入りのお人形をお持ちではありますでしたか？おままごとのセットや、おひなさま。どなたも皆いろいろなお人形が、いろいろな場面で身近にあつたのではないでしょか？

今年の4月22日、横浜人形の家がリニューアルオープンしました。来館者の利便性とバリアフリーを考慮し、大人から子供まで楽しめる施設となつた人形の家は、「横浜発・世界の人形ふれあいクルーズ」ということで

「いつ來ても楽しく、何回来ても、その都度新たな発見ができるミュージアム」に生まれ変わったそうです。

新しい館長には、石坂浩二氏が就任しました。

そこでは、開港以来横浜が国際化される経緯と友情をめぐるエピソードが紹介されたり、世界

各国の民族人形が

展示され、文化の多様性を感じと

ることができます。他に写真の

展示もあり、人形と過ごした

子どもの頃の思い出がえ

つてきます。

また、企画展示

室においては、さまざまなテーマに合わせ



て展示が更新されます。りべるて見学会のときは、セロイド展が開かれておりました。キューピー人形やかわいいだるまさん型の赤ちゃん人形を見て、懐かしさを感じるとともに、小さい頃手にしたことのあるものが、スポットライトをあびてケースの中に宝物のように展示されていることを不思議な気持ちで見てまいりました。

また、宮廷絵巻を思わせるひな人形は、小さなお道具ひとつまで整い、大切に伝えてきた人々の暮らしを垣間見た気がします。ビスクドールと呼ばれるフランス人形は、制作過程をビデオで見ることができ、それぞのページも引き出しの中に展示してあります。素材に特徴のある世界各国の民族人形は、一見の価値があります。

同窓のお友達とさそいあつて、それぞれの思い出と一緒におしゃべりするのも楽しいですし、またお一人でお出掛けになつて、ご自分の小さい頃の思い出やお人形たちとそつとご対面するのも、時には心の栄養補給となることでしょう。

横浜人形の家には、横浜駅からみなどみらい線で元町・中華街駅からが便利です。または、横浜駅東口～みなとみらい～赤レンガ倉庫～山下公園を結ぶ海のアクリス・シーバスをご利用になられても楽しいです。横浜ベイエリアの名所を海から眺めながら移動できます。

人形の家から、フランス山を通り港の見える丘公園へ。家政科記念館はすぐそこです。

フェリス祭へお出かけください

十一月二日(木)・三日(金・祝)、家政科記念館において、毎年恒例のバザーを行ないます。フェリスグッズ・手作り品・寄贈品等を販売いたします。ティーレームでは、美味しいケーキとお茶で皆様のお越しをお待ちしております。

秋の日の一日、ご家族とお友達とお誘いあわせて、山手の丘へぜひお出かけ下さいませ。

バザー寄付先	金額
フェリス維持協力会	100,000円
ユニセフ	57,888円
横浜市社会福祉協議会	30,000円
合計	187,888円

献品のお願い

バザー当日に販売します日用雑貨品や贈答品等がございましたら、ご寄付下さいますようお願い申上げます。尚、未使用品で食料品・衣類は除外させていただきます。

●受付期間

十一月二日まで
毎週木曜日、午前十一時～午後三時

●受付場所

家政科記念館

〒二三一―八七九〇 横浜市中区山手六八

郵送・宅急便でお送りいただいても結構です。

家政科同窓会りべるて宛

大森先生のお菓子教室

十数年振りに代官坂を登り、息を切らしながら家政科記念館の前に到着致しました。年月が経ても変わらない風景にホッと胸を撫でおろしました。

お菓子教室はとても和やかな雰囲気の中で行われ、やさしい大森先生のもと、先輩方々と楽しいひと時を過ごす事が出来ました。ホットケーキミックスを使って出来る蒸しケーキ、その他イチゴ大福、胡麻ダンゴなどなど。主婦には嬉しい簡単で栄養たっぷりのお菓子達が可愛らしく並び、お紅茶と共に頂いた瞬間は、フェリスファミリーの一員なのだと心から実感致しました。

我が家には育ち盛りの子供達がおりまして、先生から頂きましたレシピやお出しになられた本を参考に楽しく作らせていただいております。とても暖かなお集まり。次回も是非、参加させて頂きたく存します。（滝澤 寛子 D63）



（滝澤 寛子 D63）

D43同期会のお知らせ

2007年に還暦を迎えるD43は、謝恩会で思い出の、ホテル・ニューグランドに於いて同期会を開催します。詳細は後日お知らせいたします。皆様おさそい合わせの上、ご出席下さい。

●日 時：07年4月23日（月）
場所：ホテル・ニューグランド
連絡先：池野美也子（旧中野）
TEL 045-543-5144

行事予定

二〇〇七年	
一月	
三月	大森先生お菓子教室
	北欧織物教室
十二月九日（土）	フェリス女子院同窓会 クリスマス礼拝 午前十一時～フェリスホール
十一月八日（水）	ステンドグラス講習会 午前十時半～
十一月二日（木）・三日（金・祝）	フェリス祭参加バザー
午前十一時～	

■2005年度決算報告書 2005年4月1日～2006年3月31日

科 目	金 額 (円)
前年度からの繰越金	13,746,248
今年度の収入	
利息収入	6,814
事業収益	301,189
基金運営費	2,618,861
名簿代	80,000
寄付金	2,000
小 計	3,008,864
合 計	16,755,112
今年度の支出	
消耗品費	40,426
旅費・交通費	363,770
通信・運搬費	1,414,993
印刷・製本費	899,978
報酬・手数料	1,000
会議・会合費	40,992
諸会費	70,000
涉外費	87,263
雜修費	21,930
事務費	0
寄付	273,810
小 計	3,214,162
次年度への繰越金	13,540,950
合 計	16,755,112

定期預金(浜銀)	6,282,665
定期預金(郵貯)	2,635,109
定額預金(郵貯)	3,012,000
通常貯金(郵貯)	1,543,176
普通預金(浜銀)	0
名簿代預り金	68,000
合 計	13,540,950

※監査の結果、相違ないことを確認致しました。2006年4月12日

フェリスグッズ

- 本革ブックカバー 文庫用
(エンジ・キャメル)
各 2,500円
- エプロン
(黒・赤・茶・紺)
各 2,000円
- ハンドタオル
(ピンク・クリーム・水色・
黄緑・白)
各 450円
- スプーン フォークセット
500円
- 申し込み先
家政科同窓会りべるて
Tel・Fax
(045) 662-0750

■2006度予算 2006年4月29日

科 目	金 額 (円)
消 耗 品 費	
事 務 用	10,000
その他	60,000
旅 費・交 通 費	350,000
通 信・運 搬 費	
郵 便 料 金	1,210,000
宅 急 便	10,000
印 刷・製 本 費	940,000
報 酬・手 数 料	5,000
会 議・会 合 費	50,000
諸 会 費	70,000
涉 外 費	200,000
雜 費	10,000
修 繕 費	10,000
事 業 費	0
合 計	2,925,000

会計	河合 恵子 志村嘉子
会計監査	渡辺晃子 郷佑美

心への浸透

音楽学部長 久保 浩



これから音楽学部の20年、30年先のあり方を想像した時に、長年フェリスで多くの難題の解決を共にした私が感じることは、今これをしておかなければならぬということに注目して、斬新な発想とその実現に向かたった確固たる地盤を築くことの重要性であろう。音楽芸術学科、演奏学科の2学科に改組して2年目になるがなお一層の教育内容の前進と、音楽の真髓に迫りつつも時代のニーズを把握した総合的構築がより必要と思われる。

急速な世の中の変化、特にITの信じられないほどの生



募金コンサートにご協力を

Fグループ会長 大谷 園子

Fグループの皆様、お健やかにおすごしでいらっしゃいますか。

私たちのFグループは今春、105名の新卒業生を迎える約3600名となりました。

この発展の歩みのなかで、草創期の音楽科を支えて下さった三宅春恵先生が昨年暮れ亡くなられ、私ども教えを受けた世代は、先生が残し伝えてくださったものの大ささを、改めてかみしめました。

一方、間もなく、学部改革のもとで学んだ卒業生が仲間入りしてまいります。増大し多様化する同窓生

活の中への入り込みは、人の精神生活の根本を揺るがす要素として、教育の世界にも大きく変貌を迫ってきていると見えよう。人間の脳のすべてのメカニズムが解明される世の中が来た時は、音楽の世界も侵されそうであるが、しかし、当分の間、芸術は人類がコンピューターに犯されず神聖でいられる分野であると想像するし、そつてほしい。

今、音楽は多ジャンルにわたって、それぞれにその表現の手段、方法を模索しているわけであるが、それは声であったり、コンピューターでの制作であったり、舞台での楽器演奏であったりで、いずれにしてもコミュニケーションとして、人の心に訴えることには変わりはない。そのなかで、音楽が成すことのできる「ひとの心への浸透」は、理屈ではなかなか解き明かせないことであるかもしれないが、すべての芸術を志す者がその心を忘れず、またそのことを今一度思い返した時、人類が「音楽をする意味」が再び蘇ることであろう。

初秋とは名ばかりの、残暑厳しい天候の中、卒業間もない方々による演奏会となりました。若々しいエネルギーに包まれ、フレッシュな雰囲気で満ち溢れた演奏でした。

卒業後も世界各地で学び続けたり、活躍する同窓生の躍進ぶりを知ることができました。ジョイントコンサートに、一人でも多くの方に足をお運び頂きたいと思います。

(担当

上月早苗・23回)

2005年

音楽の贈り物

ジョイント・コンサート

2005.9.23. フェリスホール

【出演者】*戸張有香(クラリネット独奏・54回)・小牧亮子(ピアノ伴奏)・尾藤万希子(ピアノ伴奏・51回) *麻田絵里子(ピアノ独奏・53回)・細川由紀(ピアノ独奏・52回) *岩崎真由子(ピアノ独唱・52回)・大塚優子(ピアノ伴奏・52回) *伊賀香織(ピアノ独奏・51回)



研修「シーケンスの曲を田畠の聲と解説だ」
2005.10.10. フェリスホール

音楽学部を34年に渡りお導き頂き、この3月に退職された本大学学部長である渡邊明先生、そしてピアニストとして夫人の宮城令子先生をお迎えし、シユーベルトの歌曲「冬の旅」全曲の演奏とお話を伺いました。当日は雨模様にもかかわらず、フェリスホ

ールはお客様でいっぱいとなりました。

第一曲目の「おやすみ」のピアノが始まる
と、聴衆お一人お一人の中に「冬の旅」の風景
が現れたことでしょう。私の目の前にも寒さ
で空気が張りつめ、固く閉ざされた冷たい石
の家々が現れました。その凍てつく空気の中
にこれから永く続くであろう厳しい旅を予
感させる主人公の心の声が響き渡ります。
感動の中演奏を終え、この芸術作品の持つ
精神性をいろいろな角度から解説して頂き
ました。
(担当 横原緑・28回)

(担当 榊原緑・28回)



ランチタイムコンサート

2005.11.10. 山手632教室

05年度ランチャタイムコンサートは、日本や韓国においてメディア音楽の作曲、演奏

をされて いる30回生の中村由利子さんをお迎えして開催されました。当日は学生を含めて、多くの方々から越へ、ニギヤマ

た。日本や韓国のメディアで使われた曲やリクエストによる即興曲等を演奏して下さい、天気が良く暖か
な632教室の中に
は中村さんの透き
通るようなピアノの
音が響き、心地よい
空気が流れしており
ました。（担当
清水千晴・52回）

明先生の「冬の旅」を聴いて
音楽学部助教授 齊藤 京子
昨年10月10日、普段とは違ひなく、
キドキした気持ちで山手に向かつた。
明先生の「冬の旅」。このコンサートは、
聴き逃すまい!と念願の口であった。
コンサートプログラムの冒頭に寄せられれば歌うことは出来ない、また、敬

音楽学部助教授 齊藤京子（34回）
年10月10日、普段とは違ひなんともドキした気持で山手に向かう。
先生の「冬の旅」。このコンサートだけは逃さまい！と念願の日であった。
コンサートプログラムの冒頭に寄せられた
小塩節学院理事長が、「冬の旅」は人
樂史上の「奇蹟」、誰しもが口ずさめ
うに思いがちだが、本物の芸術家でな
ば歌うことは出来ない、また、敬愛する

渡邊透明さんか伊勢の極みに立て、芸術の完成の証として全曲を歌つてくださる、と述べられていて。まさにその言葉通り、明先生の歌は全くうそのない澄み切った心境が映し出し、それがそのままアーティスホールに響き渡つて、私の胸に強く熱い感動を湧き起させた。美しく心地よい言葉と激しいパッションを伴つたレガート、そして息の合つたご夫妻の宮城令子先生の伴奏でなんと安らかに運びの演奏であったとか。

アンコールのAn die Musikで、私の心は感謝の気持ちで一杯になった。聴衆全員をそう思わせるコンサートであったと確信する。

支部だより

芳川 真里子（28回）

芳川 真里子（28回）

盆地山形ではまたとない好天気に恵まれた5月、北支部会が行われました。山寺・蔵王を散策しながら楽しい話に花が咲いた有意義な一時でした。散策の後は露天温泉と、さくらんぼで疲れを癒し、会員名簿の確認をしながら再会を約束致しました。母校への愛と誇り、年月を越えた同窓生の絆を痛感し、また支部長はじめ当番の方への感謝を申し上げました。また思いも掛けず、倉長治子先生の本を拝読し、お優しく素敵なお姿を思い出しております。来年6月札幌でも皆様とお目に掛かれます事を楽しみに致しております。

中部支部

中部支部は7月7日のふれつしゅコンサ
森 純子(45回)

Fグループ2006年度コンサートのご案内
ジョイント・コンサート
9月18日(月・祝) 14:00開演
於:フェリスホール ¥2,000
【出演者】ピアノ:樋口かおり(44回)・早川満理(50回)
花井梨江(52回)・原野豊子(54回)
吉澤・若菜・姜美(46回・院1回)・山形明子(55回)

東京芸術劇場(座敷・2階) 営業時間(12時)

ティータイムコンサート
「オペラで生きるー生活の糧たるオペラハウス」

11月9日(木) 14:00開演
於:フジリス女学院大学山手6号館632教室 ￥1,000
講師:井田 芳子(37回)
スイス・オペラハウスチューリッヒに合唱団員として在籍
国家公務員としての生活、オペラハウスの仕組みなど
お詫びと聴衆をご期待ください。(申込先着50名)

《お問い合わせ・お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時~17時)
Tel & Fax:045-681-6740

七

題して1月8日は両門丁生によるピアノデュオと声楽のコンサートを予定しています。愛するフエリスを思い今年もがんばります。

四二五

支部長 柴田 美和子(21回)
・電車に遅れ、一意の

母校から遠く離れた地で、精すつ
のフェリスの種が20年、30年かけて個
性豊かな花々を咲かせています。今年
は新たな出会いを楽しみに、岡山・広
島方面で支部会を開催予定ですので
演奏や楽しい話題を持つて多数ご参加
ください。秋のオールフェリス同窓会
（大阪）は「弦楽合奏でモーツアルト」。
是非ご期待を！

九州支部

川野 幸子(25回)

福岡から九州支部音楽科の活動報告を致します。昨年9月「あれふ」ホールにて黒川先生はじめ若い演奏家達の演奏に益々エリス人気が高まっています。また今秋にも久保浩先生などにご出演頂き、音楽学部だけの総会を予定しています。役員改選もあります。5年間支部長を務められた牛島惇子さん、長千英子副支部長に改めてお礼申し上げます。

短期大学名譽教授の三宅春恵先生が、

昨05年12月9日天に召されました。87歳でした。先生は、フェリス女学院大学音楽学部の前身にあたる、専門学校音楽科の創設当初から、夫・三宅洋一郎先生とご一緒に、フェリスでの音楽教育にご尽力くださいました。「音楽学校のなかつた横浜の地に美しい音楽を」との想いが深くあります」といわれています。

前夜祈祷会、ご葬儀には、最期のお別れのため鶴見教会にあふれんばかりの人びとが集まりました。長年のご指導に感謝申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。

(関連記事掲載18ページ)



三宅春恵先生安らかに

東京生まれ。小学校から女学校まで福岡で育つ。東京音楽学校卒業後、「フィデリオ」マルツエリーネ役でデビューして以来、日本の代表的な名ソプラノとして「第九」はもとより数々のオペラやオラトリオに出演。オペラでは20余りのレパートリーを持ち、1952年、藤原歌劇団第1回アーマリカ公演に客演として招かれて歌った「蝶々夫人」や、「タ・鶴」つう、「フィガロの結婚」伯爵夫人の役は、とりわけ当たり役とされた。晩年は日本歌曲

バッハまたはハロック以前の作品の演奏にも力を注いだ。二期会の創立者の一人として後進のために尽くし、フェリス女学院短期大学音楽科では40年近く学生の指導にあたる。神奈川文化賞 横浜文化賞受賞。勲四等瑞宝章を受ける。

三宅春恵さんとの出会い

短大名誉教授 倉長 治子

3月13日の彼女の誕生日を前にして、米寿を祝えなかつた淋しさを思つていた時、「はる」や「さくら横町」などの彼女の歌声と姿が、私の頭の中を飛び回る毎日が続き、70年もの憶い出は日に日に重いものになつた。豊田春恵さんと逢つたのは、1935年(昭10)3月、東京音楽学校(現芸大)の入試合格者発表の日、母

たちが、この学校の先輩だったと知り、喜びを三倍にした時だつた。その上、一人が環境の似たクリスチャン家庭に育つたせい

か忽ち親しくなつた様に思う。

福岡女学院卒の彼女は、構内の寄宿舎に入った。入舎早々の彼女

の逸話がある。新舍生の歓迎会で各自の自己紹介の時、彼女は突然、

堂々と梁田貞の「昼の夢」を歌つて、自己紹介とした:「のこと、情感の溢れた美しい歌である。その座にいた上級生などの驚きは翌日、校内の廊下や教室で熱い噂さ話しになり、通学生の私にも、すぐ伝わつた。

夫婦は良い「理解者」互いに「師」でもあつた

音楽にも、多難な時代だつたが、

六人兄弟の長女として、しつか

り育つた彼女は、親・プリマドンナ・オラトリオなど広い分野の

歌手、1947年、夫君の「戦後

の荒れた人の心に美しい音楽を」との祈りで始められたフェリス女

学院専門学校音楽科(現大学音楽学

しい中で、緊張喜び・悩みの学生生活だったが、野山歩きなどの遊びを多いに楽しんだ。私たちには、何時ごろからか、「大はる、小はる」と呼ばれる様になつた。(?)…うべなるかな!)と感じ納得した。1939年、私たちは本科を卒業し、研究科に進んだ。彼女はこの年、新響(現N響)の「フィデリオ」出演で名声を博し、華々しく活躍の道に進んだ。

翌1940年、在学後半ごろから、お互いに名前を呼ぶようになつた。それまで私が経験してきたレッスンとは全く世界の違うもの、音を楽しむ音楽でした。先生は50代前半でいらっしゃつたと思います。

その後の戦中・戦後は家庭にも指路教会、宴はニューグランドで音楽に包まれた厳肅盛大・美しい、異国情緒を覚えた。

その後の戦中・戦後は家庭にも

音楽にも、多難な時代だつたが、

六人兄弟の長女として、しつか

り育つた彼女は、親・プリマドン

ナ・オラトリオなど広い分野の

歌手、1947年、夫君の「戦後

の荒れた人の心に美しい音楽を」との祈りで始められたフェリス女

学院専門学校音楽科(現大学音楽学

部)の教育者として、見事な人生を送つた。

私は戦後、彼女から「一緒に仕事をしな

い? 」と言われてからの「フェリス」時代の40年間は、不思議なお導きと、感謝である。

私は戦後、彼女から「一緒に仕事をしな

い? 」と言われてからの「フェリス」時代の40年間は、不思議なお導きと、感謝である。

私は戦後、彼女から「一緒に仕事をしな

い? 」と言われてからの「フェリス」時代の40年間は、不思議なお導きと、感謝である。

歌と共に

佐藤 ゆり (25回)

受験生として初めて春恵先生にレッスン

していただいた時の楽しさは35年経つ今も鮮烈に思い出します。それまで私が経験してきたレッスンとは全く世界の違うもの、音を楽しむ音楽でした。先生は50代

前半でいらっしゃつたと思います。

その頃先生は一番声の調子の悪い時期で、思うように歌えず、ヴィオラ・ダ・ガンバなどを練習しながら、ご自分に合うヴァイオ

イストレーナーを探していらした時期でもありました。

後年その頃のお話をすると「歌以外の事はやつてみても面白くなつたのよ。」とおつしやつていました。その後、木下武久先生を

ヴァイオリストレーナーとして、60代からは盛んに演奏活動をなさいました。リート、日本歌曲、パロックどれも聴く者の心をと

らえる演奏でした。

十数年間、发声研究所に通われ、木下先生が急逝なつた時は「誰に習つたらいいのかしら」とお嘆きでいらっしゃいました。リート、

日本歌曲、パロックどれも聴く者の心をとらえる演奏でした。

この心が、洋一郎先生御他界

のご傷心からも、洋一郎先生御他界

も歌への念で復讐なさいました。80歳の紀尾井ホールでのリサイタルは満席の聴衆の心に深く生き続ける演奏でした。薄

紫のドレスで桜の生けられた舞台に立たれたお姿は歌の精そのものでした。そして

その日のドレスで天国へ旅立たれました。

このページの写真・資料については、三宅ちとせさん(14回)と、神奈川新聞社にご協力頂きました。

from once a student

卒業生だより

モーツアルトイヤー2006
のオーストリーカラお便りし
ます。

ドイツのランクフルト音大

で3年間ピアノと室内楽を学ん
だ後、ワインで暮らし始めた

時はドイツが恋しかつたものでした
が、ワインに住んでからこれ19年にもなりまし
た。現在、ワイン国立音楽大学で伴奏専
任講師をしています。また、オーストリア

作曲家協会主催の演奏会でオーストリ
ーの作曲家の作品を弾いたりしています。最
近は女性作曲家の作品を弾く機会が多く

なり、定期的に女性作曲家のコンサートシ
リーズをしています。

今年の夏も、日本に一時帰国して草津
国際音楽フェスティヴァル＆アカデミーで

声楽クラスのアシスタントピアニストをし
ます。エディット・マティス先生が今年も

その他の現地の教会で賛美奏楽を担当

声楽クラスのアシスタントピアニストをし
ます。エディット・マティス先生が今年も

声楽クラスのアシスタントピアニストをし
ます。エディット・マティス先生が今年も

声楽クラスのアシスタントピアニストをし
ます。エディット・マティス先生が今年も

声楽クラスのアシスタントピアニストをし
ます。エディット・マティス先生が今年も

昨年亡くなられた恩師の塚本ルリ子先
生がワインに長く住んでいたことを思
うと、ここに生活している私があるのもワ
リスで先生の指導に多大な影響を受けた
からです。あらためて先生に感謝すると

共に母校の益々の
発展をお祈り致し
ます。



細木 朝子(30回)
フェリス女学院短大
音楽科ピアノ科専攻科

していますが、オルガンを弾く機会もあ
るのですが、カトリックの教会音楽コンセルヴ
アードでオルガンの勉強を始めたこと
です。これから計画は、プロの音楽
家・舞台芸術家によるコンサートで、様々
な国のクリスチヤンと共に主に捧げる新
しい作品を演奏することです。

昨年亡くなられた恩師の塚本ルリ子先
生がワインに長く住んでいたことを思
うと、ここに生活している私があるのもワ
リスで先生の指導に多大な影響を受けた
からです。あらためて先生に感謝すると

プロコースのみの修了生の同窓会費についてが
挙げられ、前者は検討続行、後者は入会を任意
(会費は2万円)とする旨が承認され、4月の総
会にかけられる運びになりました。また、次年
度の会長選挙に向けて選挙管理委員会も発足。
自由討論が行われた後、閉会となりました。

(報告 柏之間玲子・46回)

◆新役員紹介 常任 木村 則子(22回)

選挙管理委員会からのお知らせ

任期満了に伴うFグループ会長の選挙

06年度末に任期満了となる同窓会会長の後任
(任期は07年4月から3年間)は、会則に基づき
選挙によって選出されます。

会長の仕事は、同窓生全員の代表として会の發
展をはかり、母校創立の精神を尊重しつつ会員相
互の親睦と發展に尽力することにあります。

自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会のご連
絡をお待ち致しております。規約に従つて立候
補の手続きをとつていただごとにります。

立候補届出の提出期限:07年1月10日
提出先:Fグループ選挙管理委員会
(Fグループ事務局気付)

Fグループ選挙管理委員会
委員長:田口妙子(7回)

委員:栗原明子(15回)、篠崎まさえ(19回)、
大原純子(22回)、中山智美(54回)

問い合わせは田口妙子まで
電話(045) 3111-7290

学年幹事会

出席人数33名。05年度一般会計収支報告及
び会計監査報告、06年度一般会計収支予算案
報告の承認を得ました。審議事項として、個人
情報保護に基づく卒業生名簿への対応と、ディ
プロコースのみの修了生の同窓会費についてが
挙げられ、前者は検討続行、後者は入会を任意
(会費は2万円)とする旨が承認され、4月の総
会にかけられる運びになりました。また、次年
度の会長選挙に向けて選挙管理委員会も発足。

自由討論が行われた後、閉会となりました。

「音楽学部推薦入試へ向けて」
フェリス音楽教室(山手)
受験科体験教室 生徒募集

日時:2006年9月2日(土)

山手校舎5号館

高3以上 15:40~18:40

高1・高2 16:50~18:30

お問い合わせ

0467-31-7071

成田 紀子(28回)

9月2日以降のお問合せ(土曜日のみ)

045-641-8396

フェリス音楽教室

おめでとうございます

桑原 妙子さん(10回)
06年3月プラハ国際合唱コンクール
最優秀指揮者賞 受賞されました。

◆慶平 同窓生、先生の慶弔をご一報下さい。

◆住所・電話・姓の変更 旧姓・整理番号(宛
名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒に
お知らせ下さい。

◆山手校舎6号館632教室の貸出し、宛名ラベ
ル印刷、演奏会の後援を行つております。詳
しくは事務局までお問い合わせ下さい。

電話・FAX(045) 681-6740
E-mail:f_group@ferris.ac.jp

◆ジョイント・コンサート出演者募集
毎年9月開催予定のジョイントコンサートはF
グループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能
です。詳細は事務局までお問い合わせください。

◆Fグループ主催の催して設置しております募金
箱にいつも協力頂きありがとうございます。昨
年までの募金額は合計で、356,033円になり、
今年の1月10日、維持協力会へ振込みました。
ここに略儀ながら報告致します。

(書類参考あり)

フェリス女学院維持協力会募金箱報告

Fグループ主催の催して設置しております募金
箱にいつも協力頂きありがとうございます。昨
年までの募金額は合計で、356,033円になり、
今年の1月10日、維持協力会へ振込みました。
ここに略儀ながら報告致します。

Fグループ会報編集

金子明子(43回)

蔵増理恵(47回)

文学部の新たな飛躍に向けて

文学部長 渡辺 浪一



同窓会の皆様、ご健勝のことと存じます。宮坂学部長、森学部長に引き続き学部長を仰せつかりました。大學、とりわけ文学部を取り巻く状況は厳しいものがありますが、新たな飛躍に向けてわずかでもお役に立ちたいと考えております。どうか、皆様のこれまで以上のご支援、ご協力を願い申し上げます。

ご承知のこととは思いますが、

大学のハード的な環境はほとんど整備されたと言つてよろしいでしょう。キャンパスの中心部にあつたブレハブは取り払われ、憩いの広場となりました。この場所から眼前に広がる富士山の光景は、心を慰める素晴らしいものがあります。富士には月見草よりも緑園ません。同窓会の皆様にはぜひ母校へ足を運ばれ、この景観をお楽しみいただければと願っております。

文学部は英文学科、日本文学科、コミュニケーション学科と3学科を揃えるに至りました。コミュニケーション学科は既存の2学科に加え、これまでとは異なる新たな領域への関心をもつ志願者を増やせるのではないかと期待しております。コミュニケーション学科では国家資格ではありませんが、社会学系の学会認定の「社会調査士」資格が取得できるようになりました。まだまだ社会的な認知度の高い資格ではありませんが、将来マスコミや企業の研究・調査・マーケット部門において注目されるスキルとして期待されます。

ところで、このような新たな体制ができ上がつたことから、さらなる飛躍として大学院の整備が求められるかと思います。現在、大学院は英文学研究科と日本文学科の2研究科であり、コミュニケーション学科にはその上に大学院が設置されておりません。近い将来、研究科の増設も視野に入れなければならぬと考えております。

特に重視するのは、学生が在学中に生涯の礎（いしづえ）となる、自分の考え方や価値観を育み、社会的発展に温かいご支援を見据えつつ、本学部の原点である「交流」を内と外で実践してゆきます。

さて、国際交流学部はお陰様で今年創設一〇周年を迎えることができました。折から、時代は大きく、かつ急速に変わりつつあります。この流れの本質を見据えつつ、本学部の原点である「交流」を

内と外で実践してゆきます。

同窓会の皆様、これからも、より一層のご理解、ご協力を願い致します。

学部創設一〇周年を迎えて

国際交流学部長 馬橋 憲男



同窓会の皆様、はじめまして。

さる四月に開催されまつたり

てら年次総会に出席し、皆様から

キヤンバス生活の思い出や、その後のご活躍ぶりについて貴重なお話を伺うことができました。なかで

も女性にとって学ぶことが大変であつた時代に、あらゆる困難に立ち向かいつゝ勉学に励まれたお話

は、「学ぶ喜び」に溢れ、誠に感動的でした。

さて、国際交流学部はお陰様で

十二月にシンポジウム「地域から

の国際協力」（仮題）を開催すべく

準備を進めています。過去一〇年

間の成果と反省を踏まえ、日常的

かつ相互的な国際交流・協力につ

て学生と教員が一緒に模索しま

す。

同窓会の皆様には、今後とも文学部の発展に温かいご支援を賜りま

すようお願い申し上げます。

「りてら」の皆様へ

会長 田辺 真弓 (72E)

三つの同窓会の協力により第四号の会報をお届けいたします。

四月の学年幹事会で、出席幹事全員の賛同をえて、「りてら」からフェリス女学院維持協力



付が決定、五月末に学長にお渡しいたしました。緑園キヤンパスにもりてらショッピングセンターが植えられる事になっています。りてらの皆様には、ランチ募金への協力と共に、温かいご支援に対し、心よりお礼申し上げます。

クラス会を開かれるときは、住所等については必ず一ヶ月前までに同窓会室にお問い合わせください。また、

専用) (045・814・8966・fax

十一月四日・五日は、大学のフェリス祭が開催されます。ホームカミングデーとして皆様のお越しを、心よりお待ちいたしております。

又、今年は写真のようなバッグハンガーを作製いたしました。お出かけの時バックにしのばせてカフエでレストランでご活用下さい。商品の利益は同窓会活動や母校への寄附等、有意義な資金になります。

りてらショップでは約30種のグッズを販売しています。昨年作りました二種類のスカーフは会員の皆様からご好評を得ています。

バッグハンガーを作製作——りてらショップから——

担当 松本世以子 (71J)



「りてらフェリス会」として、地方支部の開設を希望なさる場合も、ご相談ください。

学生の方々には、同窓会を身近に感じていただく意味で、今年は「同窓生による就職講演会」をグリーンホールにて開催しました。毎月の習字講習会(実用習字)では、学生と同窓生が共に、体育館ミーティングルームで、お稽古をする機会をもっております。

一方、大学側のご努力により、入学志願者が、目ざましく増加をみせております。しかし小さな女子大ゆえ経営状況についての、バックアップが必要の状況にあり、同窓会で何ができるかを話し合っております。そして役員会では、りてらショッピングの通販に力を入れ、この収益を学院へのご支援の一つとしています。さらに十月九日(月曜・祝)、カイパー記念講堂での募金コンサートを、この会報にてご紹介しております。チケットは「りてら同窓会室」まで、faxにてお申し込みください。

2005年度 りてらショップ会計報告 (2005年4月1日~2006年3月31日)

収入	
ジャパンビバレッジ	921,562
りてらショップ	1,613,814
販	305,820
通	292,820
白菊・その他	26
利	
小計	3,134,042
繰越在庫	1,503,685
前年度繰越金	2,998,527
合計	7,636,254

支出	
小林紙工	1,463,206
ワールドアイ・丸加	1,251,390
振込	53,191
人寄	12,720
	1,000,000
小計	3,780,507
来年度繰越金	3,855,747
合計	7,636,254

りてら資産

りてら資産	70,000,000
-------	------------

監査の結果、適正なものと認めます。
監査官 湯澤 春日井

りてら 2005年度決算報告 (2005年4月1日~2006年3月31日)

収入

項目		決算
終身預金	会利	15,990,000
会計	利息	13,811
計	収	48,460
小計		16,052,271
前年度繰越金		23,288,825
合計		39,341,096

支出

項目		決算
事務報会	費用	141,924
会報会	連絡費	100,094
会報会	連絡費	3,742,240
会報会	会員費	1,345,293
会報会	会員費	1,243,800
会報会	会員費	556,545
会報会	会員費	17,640
会報会	会員費	7,183
会報会	会員費	354,702
会報会	会員費	105,711
会報会	会員費	888,000
会報会	会員費	121,134
会報会	会員費	81,250
会報会	会員費	8,641
会報会	会員費	2,000,000
会報会	会員費	121,005
会報会	会員費	8,960
会報会	会員費	11,125,573
会報会	会員費	28,215,523
会報会	会員費	39,341,096

決算報告

卒業生紹介

◆風に吹かれて 25年

石田 悅子 (82E)

大学卒業後すぐ、一九八二年の復活祭に横浜指路教会で洗礼を受けクリスチャニアになりました。プラントメーカーで約十年働いてから、一九九二年に東京神学大学に入学しました。牧師養成の学校です。

一九九六年から三年間、東京の下谷教会で伝道師として働き、次の三年間は、四国の中高教会で副牧師として働きました。

写真はその時のものです。ネパールの服を着せて頂いています。ネパールで医

師として働かれたご夫妻の報告会の後でまた人に喜ばれるようにと働いておられる方に多く出会うことができます。

葬儀に立ち合う機会も多いので死についてもいつも考えさせられます。葬儀の時には、一人のかけがえのない一生のエッセンスに出会うことができます。

現在の私と同じ40代でがんのために召天された方を思い出す時には残りの人生きをどうやって生きようかと本気で考えます。

二〇〇三年の11月頃から、めまいの発作をくり返すようになり、実家で静養しています。最近は健康状態が回復して

書くことと娘と私

三浦 瞳美 (79J)

生まれてからずっと使い続けた石井瞳美として児童文学を書いて二十年以上になります。そう思うとずいぶん長いあいだ書

ひとつの名前で書いた小説で朝日新人文学賞をいただく幸運を得た。

書けないときは、存分に書けたらどれほど嬉しいだろうと思っていたのに、いざ

くことに携わってきたようだけれど、書き始めて、さあこれからという時と子育ての時期が重なつて十年ほどは、殆ど忘れたフリをして過ごした。子供は小さいのに、目の前にその子供がいる現実が、私に圧倒的に大きくなつかつていたからだ。

書くことをじぶんの真ん中におけるようになつたのは、ここ数年のことだ。



学生対象の講演会を開催

りてらでは就職課と共催で学生のときから同窓会に親しみを持ってもらおうと六月二十一日(水)グリーンホールで就職希望の学生を対象にした講演会を開きました。講師はりてら会員の本多香苗さん(95E)、本多さんは勤務先の和幸商事(株)で採用担当の経験があり「これから就職する皆さんへ」というタイトルで、長く働くことの大切さ、会社選びのポイントなどを企業側からの視点も交えてお話し下さいました。

た。

社会労務士の資格を持ち、実社会で活躍する本多さんのお話は将来、就職を考えている学生達に大変好評でした。



りてらショッピングでの収益金で図書館横に「ハンカチの木」三本が植樹されます。

四月下旬から五月上旬にかけて花をつけ、白いハンカチで花をつぶんでいるよう

にみえる大変珍しい木です。

う言つた。「ブルトンは言つてゐるんだけれど、書くのに才能なんていらないんだって。必要なのは情熱だけだってさ。」

それからしばらくしたある日、娘がこないじぶんがいて、起き上がつた。

でも、三日目、やっぱりあきらめられない

う言つた。「ブルトンは言つてゐるんだけれど、書くのに才能なんていらないんだって。必要なのは情熱だけだってさ。」

その言葉を聞いたとき、子育ての全ての苦労が報われた気がした。もちろん、その日を含めて三日くらいは。

りてら アーカイブ

母校フェリスを想つとき、教えていただいた先生のお顔を懐かしく思い出されることでしょう。

今回は三十年間フェリスで教鞭をとられ、短大、大学の草創期を知る数少ない先生のお一人、田中純蔵先生にご登場いただきました。

——先生、今日はお忙しいところをありがとうございます。初めに短期大学草創期の頃の話を伺いたいのですが。

私は早稲田大学の大学院生であった一九五六年に英文学の非常勤講師としてフェリスに来ました。短期大学は一九五〇年に一号館の地下に設置され、まことに五一年に音楽科も開講し、学生数は各科とも二十名足らずだったと聞いています。五三年に山永武雄院長が就任されました。山永院長は学院の財政的基盤を整える必

要を痛感され、同時に短大の設備整備を急がれ、五七年には二号館が落成しました。英文、家政、音楽の三科とも学生の定員を増加しました。英文学を例にとれば、三クラスで百名という少數教育の目標を崩さぬ程度の増員でしたが。

——その頃四年制大学への移行も視野にいれられていたのでしょうか？
山永院長は二号館の完成直後から四年制大学の構想をお持ちのようでした。四年三月に院長、理事長、理事を中心とした委員会は後に「大学設置準備委員会」この委員会は後に「大学設置実行委員会」



【田中純蔵先生】

1930年生。早稲田大学大学院卒。英文学教授。56年非常勤講師としてフェリス女子学院短期大学英文学科に。60年専任講師。63年助教授。65年四年制大学教授。73年英文学科主任。79年在外研究制度第一回研究者として渡英。80年大学学長に就任。86年3月退職。同年4月より2001年3月まで早稲田大学人間科学部教授。

と名称を変え、委員長の小倉聰助教授、委員の五十川周作事務局長を中心になってございました。そして六五年四月に英文学科と国文科が開校しました。

しかしその年の九月に山永院長が急逝され、この事は開校したばかりの大学にとって大きな痛手でした。

——大学創立前後、先生はどのような事が特に印象に残っていますか？

——大学創立前後、先生はどのよう

な事が特に印象に残っていますか？

——大学創立前後、先生はどのよう

な事が特に印象に残っていますか？

——最後にフェリスへの思いと現在

の日々の様子をお聞かせください。

——最後にフェリスへの思いと現在

くください」とお願いしました。

その後何度も増補して六四年早々に発注、八月頃書店から図書が続々と入荷してきました。扇風機だけの暑い部屋で私が主に分類をし、司書さんと手伝ってくれた短大の学生諸嬢とが登録やラベル貼り

を何日もかかつてしてくれました。今でも当時のことを懐かしく思い出します。

私は英文学の図書に係わりましたが他の科でも同様の作業はされたと思います。

私としては「もっと欲しい」というのが本音でした。図書の充実こそが学生の勉学研究には欠かせない重要な財産だと思っていましたから。

——フェリスで三十年もの長きに渡り教鞭をとられた先生が目指された教育の目標は何でしたか？

私がフェリスに来て、最初に言われた事は「学生を大事にする教育」という事

でした。それは少人数教育の中で育まれる質の高い中身の濃い教育ということだと思います。

大学を大きくしてマンモス化しないか

らこそ教師と学生の密な結びつきがあり、肌理の細かい授業ができ、それが学生を大事にする教育につながっていると思います。これは今どきの大学では誇るにたる素晴らしいことだと思います。

——最後にフェリスへの思いと現在

の日々の様子をお聞かせください。

(坂井久子 62E、春日井節代 62E)

追悼 三宅春恵先生



「思ひで」

大学名誉教授・音楽学部前学部長

渡邊 明

日本の声楽の歴史の中で、圧倒的な存在感と独特的なオーラを兼ね添えたプリマドンナは数少ない。三宅春恵先生はその数少ないプリマドンナの筆頭と言つても過言ではないであろう。往年の名テナー柴田陸陸、私の師匠でもある中山悌一、カルメンお静と言われた川崎静子と共にオペラ団体「二期会」を立ち上げ、日本のオペラ界の礎を築かれた春恵先生は、また三宅洋一郎先生と共にフェリスの音楽教育の礎を築かれた人でもある。考えてみれば何と大きな歴史を刻んだ人であつただらう。

春恵先生のスケールの大きいドラマティッ

クな生涯を知る人や語る人はもう少ないと大きい。思い出すのであるが、今から39年前、1967年に二期会、日生劇場、読売日響の三者合同共催によるオペラ公演、モーツアルト作曲「フィガロの結婚」で日本の名歌手、大橋国一や立川澄人らと共に先生も伯爵夫人役で出演するはずであったが、本番前のオケ合せ当日に、突然の降板の意思が告げられた。これは大変大きな事件であったが、しかしこの事件は決して先生の価値を下げるものではなく、私たちには先生の中には伺い知れないプリマドンナとしてのプライドと生き様の葛藤があつたのであらうと思われた。この後先生はオペラは歌われていない。このオペラ公演で私もアントニオ役でデビューしたことを思えば、ここから始まる私の40年の音楽人生はまさに春恵先生との縁の中にあつたと言えよう。

春恵先生がよくフェリスの講師控室の窓際に座りニコニコしながら編み物をしている姿が今でも目に浮かぶ。そこにはいつも不思議な安堵の時が流れていた。スケールの大きな人物はいつも人には穏やかなものなのだ。

同窓会支部だより

東京支部

春恵先生から受けた音楽的な器量は実に大きい。思ひ出すのであるが、今から39年前、1967年に二期会、日生劇場、読売日響の三者合同共催によるオペラ公演、モーツアルト作曲「フィガロの結婚」で日本の名歌手、大橋国一や立川澄人らと共に先生も伯爵夫人役で出演するはずであったが、本番前のオケ合せ当日に、突然の降板の意思が告げられた。これは大変大きな事件であったが、しかしこの事件は決して先生の価値を下げるものではなく、私たちには先生の中には伺い知れないプリマドンナとしてのプライドと生き様の葛藤があつたのであらうと思われた。この後先生はオペラは歌われていない。このオペラ公演で私もアントニオ役でデビューしたことを思えば、ここから始まる私の40年の音楽人生はまさに春恵先生との縁の中にあつたと言えよう。

春恵先生がよくフェリスの講師控室の窓際に座りニコニコしながら編み物をしている姿が今でも目に浮かぶ。そこにはいつも不思議な安堵の時が流れていた。スケールの大きな人物はいつも人には穏やかなものなのだ。

春恵先生から受けた音楽的な器量は実に大きい。思ひ出すのであるが、今から39年前、1967年に二期会、日生劇場、読売日響の三者合同共催によるオペラ公演、モーツアルト作曲「フィガロの結婚」で日本の名歌手、大橋国一や立川澄人らと共に先生も伯爵夫人役で出演するはずであったが、本番前のオケ合せ当日に、突然の降板の意思が告げられた。これは大変大きな事件であったが、しかしこの事件は決して先生の価値を下げるものではなく、私たちには先生の中には伺い知れないプリマドンナとしてのプライドと生き様の葛藤があつたのであらうと思われた。この後先生はオペラは歌われていない。このオペラ公演で私もアントニオ役でデビューしたことを思えば、ここから始まる私の40年の音楽人生はまさに春恵先生との縁の中にあつたと言えよう。

春恵先生がよくフェリスの講師控室の窓際に座りニコニコしながら編み物をしている姿が今でも目に浮かぶ。そこにはいつも不思議な安堵の時が流れていた。スケールの大きな人物はいつも人には穏やかなものなのだ。

関西支部

関西支部の総会は会場を大阪・京都・神戸と順に廻りながら毎年十一月の第二水曜日に開催されております。

昨年は京阪神地区にお住まいの方のみならず、和歌山・奈良・滋賀、遠くは金沢や浜松などからのご出席を頂き、京都の健仁寺、祇園丸山に於いて四十名以上の方々と古都の紅葉を借景に京懐石を頂きながらの楽しい一日を過ごす事が出来ました。

総会はその年により院長先生をお迎えし、お話を伺つたり、それぞれの方々の近況報告を聞かせて頂いたり、音楽科の卒業生の方に演奏会を開いて頂いたりと、毎年多彩なプログラムが用意されております。

For Others の精神のもと、同じ学び舎で青春を過ごした諸姉は、年令や学部の違いを越え年に一度の再会を楽しみ、旧交を深める語らいの場として、また思いもよらない友人の発見の場もあり、転勤で関西にいらした方や関西に嫁いで間の無い方等の貴重な情報収集の場となり、また総会を利用して一泊旅行を恒例にして楽しんでおられる方々等、気兼ねのない語らいの輪が広がります。そして総会の締めくくりは全員で「清らかに」と校歌を歌つてお開きといたします。

関西在住の方に限らず多数の方々のお運びを心よりお待ちいたしております。

澤崎玲子 TEL・FAX 03-3702-4965
高間美鈴 TEL 03-3775-6279
FAX 03-3778-1066

（関連記事掲載12ページ）

合掌

春恵先生のスケールの大きいドラマティックな生涯を知る人や語る人はもう少ないと大きい。思ひ出すのであるが、今から39年前、1967年に二期会、日生劇場、読売日響の三者合同共催によるオペラ公演、モーツアルト作曲「フィガロの結婚」で日本の名歌手、大橋国一や立川澄人らと共に先生も伯爵夫人役で出演するはずであったが、本番前のオケ合せ当日に、突然の降板の意思が告げられた。これは大変大きな事件であったが、しかしこの事件は決して先生の価値を下げるものではなく、私たちには先生の中には伺い知れないプリマドンナとしてのプライドと生き様の葛藤があつたのであらうと思われた。この後先生はオペラは歌われていない。このオペラ公演で私もアントニオ役でデビューしたことを思えば、ここから始まる私の40年の音楽人生はまさに春恵先生との縁の中にあつたと言えよう。

春恵先生がよくフェリスの講師控室の窓際に座りニコニコしながら編み物をしている姿が今でも目に浮かぶ。そこにはいつも不思議な安堵の時が流れていた。スケールの大きな人物はいつも人には穏やかなものなのだ。

● ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840
● ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
● カリフォルニア事務所
Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669
● ロンドン事務所
Mrs. Reina Shimizu
121 B Ashfield St. London E1 3EX, U.K.
TEL&FAX +44-171-702-8471

フェリス女学院同窓会主催

クリスマス礼拝

《日時》

2006年12月9日(土)

午前11時～12時

《場所》

フェリスホール

《説教者》

フェリス女学院大学

大学チャプレン 廣石 望先生

クリスマス礼拝
の
ご案内



* フェリス女学院全同窓会主催
皆様、どうぞご参加下さい

2005年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告 (2005年4月1日～2006年3月31日)

前年度総越金	640,732
収入	
全同窓会維持費 (70,000×4)	280,000
利息	6
小計	280,006
合計	920,738
支出	
各支部(東京、西南、関西)へ祝儀 〔含、郵送料〕	61,060
体育館奉獻式お祝	100,000
クリスマス礼拝関連費	93,595
慶弔費 (三宅先生お花代、松永先生弔電)	11,627
備品購入	649
合計	266,931
翌年度総越金	653,807

主に感謝して。
同窓生の皆様、御健勝にお過しの事と存じます。
私共、西南支部同窓会は年に一度、秋に同窓会を開催しております。中高、英文科、家政科、国文科そして音楽科とのすべての卒業生の方々の同窓会です。

昨年は国文科の卒業生の方々に幹事をお願いし、菊竹美枝さん、杉野由美さんのお二人には、大変お世話になりました。理事長の小塩節先生に、「言葉と音楽」と題して御講演をして下さいました。言葉が生まれた時、そして言葉の必要性、人間の誕生、又言葉と音楽との関係等とても興味深く有意義で楽しい時を持つ事が出来ました。

今年の幹事の方々は英文科の水江篤子さん、大神薰子さんです。お世話になる事と想いますが感謝です。

そして、昨年まで役員をお世話になりますが、大野満里さん、廣石登茂子さんと共に、責任の重さを感じながらも、出来る事を精一杯務めさせて戴きたいと思つております。フェリス女学院で学ばせて戴いた、たくさんの宝物に感謝し、今後共同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。

西南支部長
(音楽科24期卒)
伊藤和子

2005年クリスマス礼拝献金先

献金総額	129,349円
日本ユニセフ協会	32,337円
日本キリスト教海外医療協力会	32,337円
難民を助ける会	32,337円
社会福祉法人日本医療伝道会	32,338円

西南支部

白菊会より

この三年、りてら・りべるて・Fグループの皆様が緑園で一緒に総会を持ち、各自に個性を發揮しながらも心をひとつにしてゆかれる様子を拝見していて、とてもうれしく、心強く感じております。

私ども白菊会も、昨秋には、普段は同窓会室で開いているしらぎくティータイムを「緑園キャンバス訪問」に変え、さまざまな工夫がちりばめられている新体育館やエコキャンパスを、本間大学長直々のご案内で楽しく見学させていただきました。緑園の光と風を肌で感じながら、皆、大学がずっと身近になつた温かい思いをお土産に持ち帰ることができたのが、何よりも嬉しいことでした。

これからも、大学同窓会との交流の場ができるだけ持ちたいと思っています。皆さん方も、中高フェリス祭の折には、ぜひ山手にお出かけ下さいますように。

フェリス祭

11月2日(木)・3日(金)

白菊会 喫茶・バザー

2号館 同窓会室

山手通り正門

同窓会受付から

ご入場ください

問合せ 同窓会室(火・木 在室)

TEL. 045-641-5200

サークル紹介

聖書を学ぶ会

お詫言 気仙三一先生
日時 第二木曜日十時半～十二時
場所 中高同窓会室
連絡先 杉浦昌子(S26)
○四五(三三五)一二〇五

書道サークル

初心者の方でも気軽に入会できます。
日時 第四木曜日一時～四時
場所 大学(山手六号館別館二階
連絡先 望月幸子(56E)
○四五(三七二七)九一八五

デイジーグリークラブ

指導 田中 順先生
月二回水曜日一時半～三時
場所 白菊会同窓会室
連絡先 鈴木道子(S41)
○四五(九三四)七六〇三



英語読書会

指導 吉野洋子先生
日時 第三水曜日十時半～十一時
場所 中高同窓会室
連絡先 伊藤眞美
○四五(四三〇)八九九

世界史講座—キリスト教と世界史—

講師 横居 洋先生
第三木曜日十時半～十二時半
場所 中高同窓会室
連絡先 数原安子(S48)
○四五(四三三)五六九九

■ Fグループ演奏会のお知らせ ■

- ◆9月18日 ジョイント・コンサート フェリスホール
開演 14:00 料金 ¥2,000
- ◆11月9日 ティータイムコンサート 山手6号館632教室
「オペラで生きる-生活の糧たるオペラハウス」
講師:井田 芳子(37回)
開演 14:00 料金 ¥1,000

問い合わせ:Fグループ事務局 TEL 045-681-6740

※詳細はP11に掲載

永眠者(お届けのあつた方)

塚本ルリ子先生	一〇〇五・九・二	大学名誉教授 永山 文夫先生	一〇〇五・九・六
加藤 康雄先生	一〇〇六・一・一五	短大名誉教授 三宅 春惠先生	一〇〇五・一二・九
志水 真美姉(D61)	一〇〇五・六・九	福岡ひとみ姉(D49)	一〇〇五・四・四
金田端枝子姉(D37)	一〇〇六・二	坂本ルリ子先生	一〇〇五・九・二
中鉢 彩子姉(D32)	一〇〇六	加藤 康雄先生	一〇〇六・一・一五
Fグループ	りべるて	志水 真美姉(D61)	一〇〇五・六・九
猪俣 幸代姉(38M)	一〇〇五・三・二	金田端枝子姉(D37)	一〇〇六・二
石井 朝美姉(37M)	一〇〇五・一〇・一	中鉢 彩子姉(D32)	一〇〇六
先山 裕姉(74E)	一九九六・六・三	志水 真美姉(D61)	一〇〇五・六・九
小野寺恵子姉(78E)	二〇〇二・九	金田端枝子姉(D37)	一〇〇六・二
遠藤 節子姉(58E)	二〇〇三・二・五	中鉢 彩子姉(D32)	一〇〇六
相澤 澄子姉(56E)	二〇〇五・三・二	志水 真美姉(D61)	一〇〇五・六・九
齊藤瑞美子姉(61E)	二〇〇五・四・二七	金田端枝子姉(D37)	一〇〇六・二
森 裕子姉(79J)	二〇〇五・六・二八	中鉢 彩子姉(D32)	一〇〇六

謹んで哀悼の意を表します。

大学祭

FERRIS FESTIVAL 2006

テーマ:Ferris Colors

開催日時:十一月四日(土)・五日(日)
十一時～二十時(両日出店は十七時まで)

開催場所:緑園キャンパス

十一月四日(土)・五日(日)
十一時～二十時(両日出店は十七時まで)

入学案内

フェリスの入試が変わります!

二〇〇七年度入試では、「センターリー用入試」の後期日程を導入、また募集人員の増員も行います。詳しくは、大学Webサイト「入試インフォメーション Ferris NAVI」をご覧ください。

教員をされている同窓生へ

同窓生の現役教員(中学・高等学校)のネットワーク作りをしていきます。

詳しく述べメール:kyoshoku@ferris.ac.jp
電話:〇四五・八一二・八二九三三三三連絡を。

編集後記

「フェリスはひとつ」の心を示す、三同

窓会合同の総会開催と、会報の発行も4年目を迎えました。今年も、情報満載の会報をお届けできますことを感謝いたします。会報には、様々な催しが掲載されております。どうぞ何かひとつでも参加していただけたら幸いでです。思いがけないよい出会いが皆様をおまちしています。

担当:家政科同窓会りべるて
Fグループ
二〇〇六年八月発行

りべるて
〇四五(六六二)〇七五〇
Fグループ
〇四五(六八一)六七四〇
りべるて
〇四五(八一二)八六九二